

理事会で補正予算を審議

[中央会]

中央会は、平成21年度の一般会計補正予算審議と事業実施状況報告を中心とした第3回理事会を水戸市の県産業会館で開いた。

議案審議では、21年度一般会計補正予算の説明が行われ承認された。また、総会開催後に追加された事業を中心とした事業実施の状況と、会員の加入・脱退状況などについて報告があった。

理事会終了後、関東経済産業局産業部の櫻井成好次長が平成22年度中小企業施策について講演した。

平成22年度の第1回理事会は5月11日(火)午前11時から、第55回通常総会は6月2日(水)午前10時から、それぞれ水戸市の県産業会館で開かれる予定。

適格組合を対象に官公需問題懇談会

[中央会]

中央会は、水戸市内で官公需適格組合を対象に官公需問題懇談会を開いた。官公需適格組合とは、中小企業組合が官公需受注にあたり、受注体制が整備されていることを国が認証する制度のこと。

懇談会では、全国中小企業団体中央会政策推進部副部長の長野孝昭氏が「官公需を巡る最近の動向と課題」をテーマに講演。「官公需ポータルサイト」は、全国中央会が構築しており、国等及び地方公共団体がホームページで公表している発注情報の一括検索による迅速な情報提供を図るもので、今後も機能充実に

努めていくので是非活用して欲しいなどと話した。

その後、出席者による質疑・意見交換が行われ、発注機関に対し、官公需についての理解と官公需適格組合の活用の周知徹底を求める意見や官公需適格組合の更新の際の書類の簡素化など条件緩和を求める意見が出された。

共同店舗運営で研修会

[県商店街振興組合連合会]

県商店街振興組合連合会(金澤克憲理事長)は県との共催で商店街マネジメント研修会を水戸市内で開いた。

本年度これまでに現地研修や県外の商店街リーダーの講演会など全5回開催。今回が最終回となった。

研修会は、「商店街における連携と後継者」をテーマに中小企業診断士の宮田貞夫氏と、つくば市の北条商店会の坂入英幸氏、水戸市の泉町二丁目商店街振興組合の高野健治氏、常陸太田市の鯨ヶ丘商店会の渡辺彰氏の4名による座談会形式で行われた。

坂入氏は筑波大学生と北条商店街とが協働して設立した「北条街づくり振興会」について、高野氏は車椅子バスケットボール選手との出逢い、渡辺氏は商店街のコミュニティ活動応援団として組織した「鯨ヶ丘倶楽部」について、それぞれ「連携」をキーワードに語った。後継者問題については、厳しい現実にあるが、これまでの商店街活動では出逢えなかった人達との様々な交流が商店街の後継者づくりにつながっているなどと語った。

**不況のピンチをチャンスに活かせ！
お金をかけずに経営力・社員力大幅アップ！**

中小企業だからこそ、
公的助成金の活用で
実現できます！

多くの
実例が
あります！

～経営課題の具体的な解決を行います～

**企業の
経営革新**

- ・経営戦略/事業計画
- ・社員教育
- ・国際規格の取得 (ISO)
- ・プライバシーマーク

中小企業様の支援実績は、
県内トップクラスの
500社以上!!!

お気軽にお問い合わせ下さい



MANAGEMENT
CENTER

株式会社 マネジメントセンター
茨城県水戸市元吉田町 1041-4 サン・ビルディング 2F
TEL029-246-4671 FAX029-246-4672
URL <http://www.isommc.com>
E-mail info@isommc.com